

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
新役員紹介	2～3
お知らせ	4～6
母校だより	7～8
支部のうごき	9～15
ふるさと自慢	16
クラス会だより	17～22
OB会・グループ・サークルだより	23～24
庶務日誌	24
すいどうばし	25
逝去会員	26
へんしゅうこうき	27

---

スペイン・セビーリア (表紙 野村 淳)

HOTEL ALfonso XIII で貴族のような一夜を過した。

翌日は抜けるような青空が広がっていた。

旧市街の小路に迷いこんで、見上げると、石造りの建物と建物の間から、青い空にくっきりと美しい塔が見える。

セビーリアの象徴ヒラルダの塔。12世紀イスラム教徒が建造し、あまりの美しさに16世紀、キリスト教徒はこの塔を残し鐘楼になった。

400年後、私は大小28の鐘が時を告げるのを聞いている。

季節が来るとこの街路樹にはオレンジの実がたわわに実るそうだ。

# セピア色の写真館 ～思い出の一枚～



写真上は昭和32年当時の演劇部部員で、下は昭和31年11月の第9回公演ジャン・アヌイ作「泥棒達の舞踏会」より



記憶の底にあった懐かしい頃を想い、古い写真を捜してみたが、50年も前のこととなると断片的な資料しか見付からない。演劇部第1回公演は都民文化館で、山本有三作「盲目の弟」、A・チェホフ「熊」が昭和23年11月に上演、以後毎年公演が行なわれたが、私の手元には残念ながら写真が無い。第8回、矢代静一作「絵姿女房」(写真1段目左)とマイヤーフェルスター作「アルトハイデルベルグ」が昭和30年10月に国鉄労働会館で上演された。当時学校が水道橋と市川に分かれていた関係で学部と予科で1本ずつの二本が発表された。

大学文化祭の市川祭ではA、B、C各クラスがそれぞれ芝居を発表した程、熱心であった。然しそれも翌年からは無くなったが、演劇部としては昭和31年11月に第9回ジャン・アヌイ作「泥棒達の舞踏会」(写真1段目中央)を赤坂公会堂で上演した。第10回昭和32年9月森本薫作「華々しき一族」(写真1段目右)、昭和32年10月ジャン・アヌイ作「啞のユミリュス」(写真2段目)、昭和33年11月ロマンラン作「愛と死の戯れ」(写真3段目)を俳優座劇場



で発表した。この時、仲代達也氏が我々の芝居を見てくれたと皆、大得意であった。

(S36卒・川又正義 記)

(写真4段目左は昭和32年楽屋でメイクアップ中の様子で、右は昭和32年の夏に箱根、熱海への部員旅行です。)



## 和衷協同



会 長  
大 山 萬 夫

新年明けましておめでとう存じます。

先生方には平成20年の新春を爽やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年11月開催の東京歯科大学同窓会評議員会総会におきまして、私が次期同窓会会長のご推薦を頂きました。以来その責務の重にして、かつ厳なる事を日々ひしひしと身を感じておる今日この頃であります。

何と申しましても、この度の不祥事により、歯科界に大変なご迷惑をおかけし、又国民の皆様には歯科医療界に対する不信の念を抱かせた事実は痛恨の窮みであります。

同窓会と致しましては、この問題を避けて通ることは出来ません。お詫びと反省をこめて一刻も早く健全にして信頼される同窓会へと立ち直ることが、新執行部に課

せられた大きな課題の一つと認識致しております。この件につきましては、皆様の納得の頂ける線を出すべく、目下鋭意検討中でございます。

さて本会スタートについての役員人事の事でございますが、前執行部におかれては、会長はじめ常任理事の方々が引責退任されました。その様な状況下でしたが、お陰様で別記の様な若手を含んだ重厚な人事構成となりました。ご覧頂ければお解りの様に、目下日歯・都歯・県歯等にてご活躍中の多忙な方々のご協力を頂くことが出来ました。同窓会の危急存亡の秋と愛校心を持って応援して下さいたことは、私にとりまして大変有難く、また心強い限りでございます。

今後の本部の活動と致しましては、同窓会会則第3条「会員相互の親睦並びに福祉の増進を図ると共に、母校の発展に寄与するをもって目的とする。」と有ります。原点にもどり活動基盤と致しました。

ご案内の様に大学は近々迎える大学創立120周年記念祝典並びに水道橋校舎の有効活用計画、将に21世紀の大プロジェクト計画を持たれております。

我が大学は創立117年の輝かしい歴史と立派な教育研究業績そして優秀な歯科医療人を同窓として持つ、屈指の名門校であります。この榮譽を汚す事は出来ません。立派に達成すべく、同窓会としてはこの事業に対する十分な情報交換のもと、全面的な支援体勢の早期確立が急務ではないかと存じます。我々は叡智を結集し、和衷協同の体勢でご支援致さなければならぬと肝に銘じております。会員の先生方には少子化と言う社会現象に対応すべく、母校存続の大事業と言う事をご理解頂き格段のご支援をお願い致します。

ここで各部会の報告を致します。各部活動は多くの委員の方々によって運営され同窓会活動を支えて頂いております。

学術部は卒後研修セミナー2008を4月20日より「日常臨床のスキルアップ」をテーマに開講致します。PRの程宜しくお願い致します。広報部は例年通り、同窓会会報を定期刊行致しております。支部日より、クラス会日より等ご投稿下さい。他の各部活動につきましては逐次同窓会会報にご報告致します。

以上新同窓会本部と致しての今後の方針について雑駁では有りますが述べさせて頂きました。

会員の皆様には、今後共、同窓会活動について格段のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

# 東京歯科大学同窓会新役員紹介

会 長



大山 萬夫 (新任)  
昭和25年卒

副 会 長



江崎梅太郎 (新任)  
昭和30年卒  
学術担当

副 会 長



服部 玄門 (新任)  
昭和33年卒  
渉外・保険担当

副 会 長



柳 清二 (新任)  
昭和38年卒  
情報担当

副 会 長



片倉 恵男 (新任)  
昭和39年卒  
広報担当

副 会 長



神谷 龍司 (新任)  
昭和40年卒  
厚生担当

専務理事



関 泰忠 (新任)  
昭和43年卒

常任理事



中島 信也 (新任)  
昭和59年卒  
総務担当

常任理事



佐藤 晃一 (新任)  
昭和43年卒  
会計担当

常任理事



江里口 彰 (新任)  
昭和47年卒  
会計担当

常任理事



木俣 茂 (新任)  
昭和51年卒  
渉外担当

常任理事



宮地 建夫 (新任)  
昭和42年卒  
学術担当

常任理事



河田 英司 (新任)  
昭和51年卒  
学術担当

常任理事



山本 英之 (新任)  
昭和55年卒  
学術担当

常任理事



三友 和夫 (新任)  
昭和54年卒  
広報担当

常任理事



野上 宏一 (新任)  
昭和42年卒  
厚生担当

常任理事



前田 修 (新任)  
昭和48年卒  
保険担当

常任理事



臼井 文規 (新任)  
昭和55年卒  
情報担当

理 事



戸田 徳和 (再任)  
昭和50年卒

理 事



岩沼 甫 (新任)  
昭和41年卒

理事



井原 信一 (新任)  
昭和45年卒

理事



高橋 義一 (新任)  
昭和48年卒

理事



片桐 利雄 (新任)  
昭和46年卒

理事



伊藤 成章 (新任)  
昭和31年卒

理事



宮本 宣良 (新任)  
昭和48年卒

理事



小室 甲 (再任)  
昭和37年卒

理事



安田 順一 (新任)  
昭和49年卒

理事



久保田 晃 (再任)  
昭和38年卒

理事



濱田 孝一 (新任)  
昭和50年卒

常任監事



浅野 薫之 (新任)  
昭和40年卒

監事



原 武仁 (新任)  
昭和44年卒

監事



平井 義人 (新任)  
昭和45年卒

—嘱託—



鳴神 保雄 (新任)  
昭和30年卒

# お知らせ

## 理事会より

- 新執行部が発足いたしました。役員は2頁～3頁に掲載。
- 1月12日（土）第1回理事会が開催されました。
- 内外に山積する諸問題に対し、執行部一丸となって取り組みます。会員の皆様、ご協力をよろしくお願い致します。

## 同窓会事業・行事

- 第36回全国ゴルフ大会  
と き 平成20年9月4日（木） 予定  
ところ 埼玉県 霞ヶ関カントリー倶楽部 予定
  - 平成20年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会  
と き 平成20年11月22日（土）  
ところ ホテルメトロポリタンエドモンド  
(千代田区飯田橋3-10-8)
  - TDC 卒後研修セミナー2008プログラム  
実技セミナー  
No.1 徹底的に SRP  
～歯周病専門医から学ぶグレースー・キュレット～  
4月20日(日)  
No.2 見直そう口腔外科疾患の診断と基本手技  
5月25日(日)  
No.3 実践 MTM ステップアップコース  
6月21日(土)・22日(日)  
No.4 新素材、歯冠修復の新たな潮流  
～メタルフリー修復の実際とその基本手技～  
7月6日(日)  
No.5 導入しよう！ インプラント治療  
9月6日(土)・7日(日)
  - ベーシックセミナー  
No.6 パーシャルデンチャーをもう一度学ぼう ～設計の秘訣～  
10月26日(日)
  - 卒研フォーラム  
No.7 患者さんの健康を支援する  
～歯科医師のできる事 歯科衛生士にできる事～ 11月9日(日)
- 問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部  
Tel. 03-5275-1761

## 地域支部連合・支部関係

- 地域支部連合会会長の交替  
平成20年1月1日付
- 東北地域支部連合会 高橋 昭一 氏 (38卒)  
前連合会長 岩沼 甫 氏 (41卒)
- 関東地域支部連合会 関谷 和夫 氏 (42卒)  
前連合会長 山口 忠夫 氏 (39卒)
- 北陸地域支部連合会 金川 直博 氏 (45卒)  
前連合会長 加藤 成俊 氏 (49卒)
- 近畿地域支部連合会 西尾 敏生 氏 (50卒)  
前連合会長 井口 廣昭 氏 (44卒)
- 中国地域支部連合会 楊井 孝 氏 (49卒)  
前連合会長 高橋潤一郎 氏 (42卒)

## ●支部長交替

平成20年1月1日付

山形県支部	中川 正晴 氏 (42卒)	静岡県支部	浅野 尹男 氏 (45卒)
前支部長	岩沼 甫 氏 (41卒)	前支部長	山元 雍久 氏 (39卒)
埼玉県支部	成田 賢二 氏 (43卒)	大阪府支部	西尾 敏生 氏 (50卒)
前支部長	増田 紀男 氏 (39卒)	前支部長	粟田 正人 氏 (51卒)
千葉県支部	曾我部 勉 氏 (42卒)	愛知県支部	牧野 健司 氏 (43卒)
前支部長	浅野 薫之 氏 (40卒)	前支部長	神谷 龍司 氏 (40卒)
横浜北部支部	中島 史和 氏 (42卒)	平成20年1月13日付	
前支部長	飯嶋 斌 氏 (46卒)	岡山県支部	斎藤 治典 氏 (44卒)
山梨県支部	長久保文夫 氏 (43卒)	前支部長	佐藤 征紀 氏 (43卒)
前支部長	小屋 忠嗣 氏 (44卒)		
板橋支部	森岡 俊介 氏 (47卒)	平成20年1月26日付	
前支部長	市川 豊 氏 (47卒)	宮崎県支部	清水 英男 氏 (50卒)
町田支部	濱田 三郎 氏 (46卒)	前支部長	濱田 孝一 氏 (50卒)
前支部長	前田 康英 氏 (48卒)		

## 母校関係行事・案内

## ●平成20年度東京歯科大学入学試験

一般入学試験(Ⅱ期) 平成20年3月8日(土)

詳細は358号(6月号)16頁に記載

## ●第113回東京歯科大学卒業証書・学位記授与式

と き 平成20年3月25日(火)午前10時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

## ●平成20年度東京歯科大学入学式

と き 平成20年4月5日(土)午後1時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

## ●平成20年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校

第57回卒業式:平成20年3月14日(金)午後1時

平成20年度入学式:平成20年4月4日(金)午前10時

## 同窓会関係者を詐称する商法に御用心

最近、東京歯科大学同窓会理事や同窓会関係者のように装って、書籍等売りつける商法が同窓会に報告されています。電話では同窓会報を読んでいるかのような会話をして信用させることもあるようです。くれぐれもご注意ください。

同窓会から物品の販売でお電話することはありません。怪しいと思った時には同窓会本部までご連絡下さい。



平成20年度 理事会・常任理事会，卒後研修セミナー，広報部委員会  
年間開催日程表

理事会・常任理事会		卒後研修セミナー		広報部委員会	
開催日	区 分	開催日	研修内容	開催日	作業内容
1月12日(土)	第1回 理事会			1月10日(水)	2月号編集
2月13日(水)	第1回 常任理事会			2月14日(木)	4月号企画
3月15日(土)	第2回 理事会			3月11日(火)	4月号編集
4月9日(水)	第2回 常任理事会			4月11日(金)	6月号企画
4月23日(水)	監査会	4月20日(日)	実技セミナー No.1		
5月10日(土)	第3回 理事会	5月25日(日)	実技セミナー No.2	5月12日(月)	6月号編集
6月11日(水)	第3回 常任理事会	6月21日(土)	実技セミナー No.3	6月10日(火)	8月号企画
		6月22日(日)	実技セミナー No.3		
7月12日(土)	第4回 理事会	7月6日(日)	実技セミナー No.4	7月11日(金)	8月号編集
				8月25日(月)	10月号企画
9月10日(水)	第4回 常任理事会	9月6日(土)	実技セミナー No.5	9月11日(木)	10月号編集
		9月7日(日)	実技セミナー No.5		
10月11日(土)	第5回 理事会	10月26日(日)	ベーシックセミナー No.6	10月10日(金)	12月号企画
11月21日(金)	第6回 理事会	11月9日(日)	卒研フォーラム No.7	11月11日(火)	12月号編集
11月22日(土)	評議員会・定時総会				
12月10日(水)	第5回 常任理事会			平成21年 12月2日(火)	平成21年 2月号企画
				平成21年 1月13日(火)	2月号編集
(理事会6回・常任理事会5回)					
1. 理事会 土曜日 午後2時30分 水道橋校舎特別会議室(5階) (連絡会 午後1時00分) 2. 常任理事会 水曜日 午後5時00分 TDCビル1階 同窓会会議室		卒後研修セミナー 1. 開催日 4月20日(日)実技セミナー 9:30~ 5月25日(日)           〃       9:00~ 6月21日(土)           〃       10:00~ 6月22日(日)           〃       9:30~ 7月6日(日)            〃       9:30~ 9月6日(土)            〃       10:00~ 9月7日(日)            〃       9:30~ 10月26日(日)ベーシックセミナー 9:30~ 11月9日(日)卒研フォーラム 9:30~ 2. 会 場 水道橋校舎2階 血脇記念ホール		編集・企画会議 1. 時 間 午後6時30分 2. 場 所 TDCビル1階 同窓会会議室	

# 母校だより

母 校 の 今

## 東京歯科大学千葉病院小児歯科

東京歯科大学小児歯科学講座  
教授 薬師寺 仁



昭和41年4月に開設された小児歯科学講座は、平成18年4月に満40周年を迎え、平成19年10月20日に初代主任教授で、本学名誉教授の町田幸雄先生を始めとする小児歯科同門者出席の下に講座開設40周年の記念祝賀会が開催されました

小児歯科学講座は現在、教授1名、客員教授1名、准教授1名、客員准教授1名、講師2名、助教4名、レジデント3名、臨床専門専修科生7名、大学院生6名、非常勤講師20名の46名で、診療・研究・教育に携わっています。また東京歯科技工専門学校から委託の歯科技工専修科生2名の教育を行っています。

### 診療内容

本稿では診療の活動内容について紹介します。

成長・発達途上にある小児の歯と口腔の病気の予防と治療、さらには

長期的な口腔管理（定期健診）を担当し、口腔の健康維持・増進にとって大切な食生活や生活習慣を身に付けるための育児支援を担当しています。

主な診療内容は次のとおりです。

#### 1) 齲蝕、歯周病の予防と処置

各種齲蝕予防処置（フッ化物塗布、シーラント）および適切な歯磨き指導や食習慣指導など、齲蝕や歯周病の予防に必要な生活習慣指導を行うとともに早期発見・早期処置のための定期的健康管理を行っています。

#### 2) 口腔外傷の処置

乳歯の外傷は後続する永久歯の形成障害や歯列不正などの後遺障害を高頻度で起こすことが知られています。当科では乳歯および幼若永久歯の外傷受傷時の処置とともにその後、永久歯列完成期まで長期的予後観察を実施しています。

#### 3) 歯列、咬合の処置

小児の歯列・咬合不正の予防や治療、さらに重症化の抑制をはかる処置を咬合誘導と呼びます。当科では乳歯萌出開始期から混合歯列期までの歯列、咬合の治療や口腔習癖の除去を行っています。

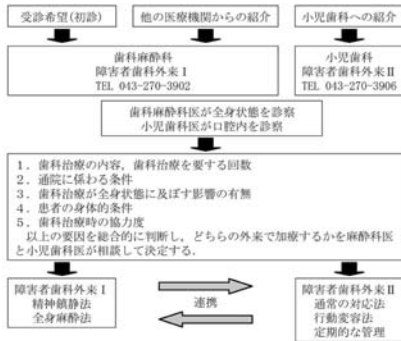
#### 障害者歯科外来

平成17年4月に千葉病院に小児歯科および歯科麻酔科との連携のもとに障害者歯科外来が開設されました。

障害者歯科外来での歯科治療を実施する患者様は、先天異常や周産期の異常による精神遅滞、脳性マヒ、自閉症、てんかんなど知的障害や肢体不自由を伴う場合であり、後天的な二次障害（脳血管障害による肢体不自由や認知症）（痴呆）を随伴した方の治療は保存科や補綴科が担当します。また、視覚や聴覚など感覚器に障害を有する患者様も担当します。

障害者歯科外来は、齲蝕や歯周病の治療を一貫して行うとともに、その後も定期的に来院していただくことによって、新たな疾患が発生しないような管理を行っています。

障害者歯科外来は二つに分かれています。初診の患者様は、図のような流れで障害者歯科外来に来院していただき、歯科麻酔科医および小児

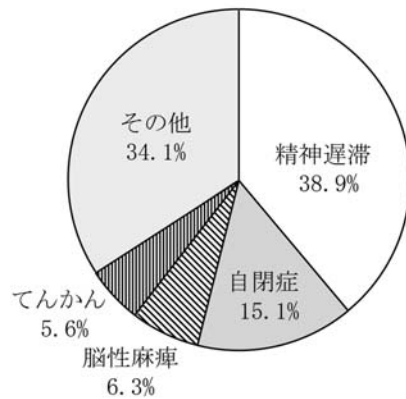


歯科医が口腔内や全身的な診察を行った後、診療の計画をたてることになります。

基本的に歯科麻酔科障害者歯科外来Ⅰでは全身麻酔、静脈内鎮静法など歯科麻酔科医による全身管理が必要な患者様を中心に、5階の歯科麻酔科診療室において診療を行い、障害者歯科外来Ⅱでは歯科麻酔科医による全身管理の必要がない患者様を2階の小児歯科診療室において診療しますが、患者様の状態によってはその限りではありません。どちらの外来で診療を行うのかは歯科麻酔科医と小児歯科医双方が診察を行い判断いたします。なお、歯科治療は主に日本障害者歯科学会認定医の資格をもつ小児歯科医が行いますが、診療内容によっては口腔外科、保存科、補綴科の専門医と連携を図り治療に当たります。

平成14年度の障害者歯科外来Ⅱにおける診療概要の実態調査によれば、障害の種類別では、精神遅滞が38.9%で最も多く、次いで自閉症が15.1%、脳性麻痺が6.3%でありました。

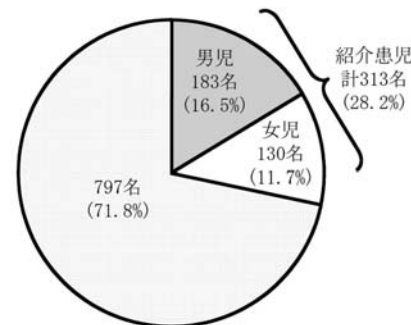
年齢分布では、10～12歳が19.8%で最も多く、次いで7～9歳が18.3%、4～6歳が11.9%であり、幼児期後半から学童期の小児が約半数を占めていました。当科への来院経緯では、直接来院が33.3%で最も多く、次いで開業歯科医からの紹介が28.6%であり、紹介患者の約6割



が精神遅滞でした。近年、地域歯科医師会が運営する障害者歯科診療施設の増加および開業歯科医が障害者に対する歯科治療に積極的に取り組むようになってきたとはいえ、障害の程度がより重度であれば、歯科治療時の対応が一層困難となる場合が多く、またコ・デンタルスタッフや設備などの問題もあり、当科への紹介が増加していることから、障害者に対する歯科診療の担い手として、障害者歯科外来の果たす役割は少なくないものと思われます。

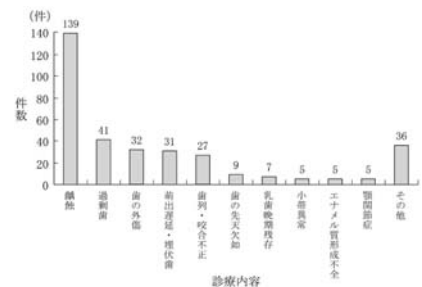
### 小児歯科における病診連携

東京歯科大学千葉病院では平成17年11月に千葉県歯科医師会ならびに郡市歯科医師会の協力を得て、地域医療機関との医療連携の推進を図るために医療連携協議会を発足させ、これまでに症例検討会の開催、口腔癌検診、障害者治療の受け入れなど、病診連携につながる様々な取組



みを行ってきました。最近、その成果の一端として、千葉病院小児歯科には地域医療機関からの紹介状を持参して来院する小児患者数が増加の傾向にあります。

平成17年10月から平成18年9月までの1年間に本学千葉病院小児歯科に来院した初診患児1,110名のうち、歯科診療所、一般病院から診療情報提供書あるいは紹介状を持参した患児313人について調査した結果、診療依頼内容で最も多かったのは齲蝕治療であり、次いで、過剰歯、歯の外傷、萌出遅延・埋伏歯、歯列・咬合不正の順でした。齲蝕治療では6歳以下が6割以上、歯の外傷では1～2歳が4割を占めていることから、紹介元医療機関では低年齢児の処置が困難であることが推察されました。また、混合歯列期の過剰歯、萌出遅延・埋伏歯、歯列・咬合不正などの咬合誘導処置を小児歯科専門医に依頼する傾向にあります。



当科では、初診時年齢が16歳未満の患者様に始まり、成長・発達が完了するほぼ20歳頃までの患者様を担当いたします。

患者様のご紹介だけでなく、患者様についてのご相談も小児歯科専門スタッフがご相談に応じますのでお気軽にご連絡ください。

千葉病院小児歯科受付の直通電話は、043-270-3906です。

# 支部のうごき

## 近畿地域支部連合会

第60回近畿連合同窓会は和歌山県支部の担当で、定例の11月23日和歌山市東急インで開催いたしました。穏やかな秋晴れの1日で奈良県以外の2府3県より会員と奥様40名の参加をいただきました。来賓として大学より井出吉信副学長、同窓会より小室 甲理事（大阪府会員）、学術講演として水道橋病院長の柿澤 卓教授にご参加いただきました。当日は早朝スタートのゴルフコンペから始まりました。絶好のコンディションの下でトリッキーな和歌山カントリークラブをラウンドいたしまし

た。昼食時間帯には小室理事、各府県支部長と補佐役1名による支部長連絡会議が滞りなく進行いたしました。午後1時からは柿澤教授にお願いいたしました学術講演で「歯科医院における感染予防のポイント」というテーマで具体的かつ分かり易いお話で大変参考になる有意義な時間を過ごさせていただきました。午後3時からは本題の総会で、この中では小室理事より同窓会の現状について詳しく解説していただきました。井出副学長からは大学報告として、大学の将来像、学生気質、教育、入

学試験、国家試験、研修制度、等詳しくご説明いただきました。いつもながらの楽しい話術に一同引き込まれてしまいました。和気藹々の懇親会で日程の全てを無事終了することができ、ホスト役の和歌山県会員一同ホッとしたところです。さて、次年度は大阪府の担当でリーガロイヤルホテルで開催されます。どうか大勢の皆様のご参加をお願いいたします。最後になりましたが、東京歯科大学と大学同窓会から物心両面で暖かいご支援をいただきましたことに心より御礼申し上げます。

（井口廣昭 記）



## 神奈川県支部連合同窓会

平成19年度

評議員会・定時総会・懇親会開催

12月2日(日)ローズホテル横浜において評議員会・定時総会・懇親会

が開催された。

評議員会は午後2時30分より関泰忠会長挨拶の後、議長に森田稔彦評議員会会長、副議長に佐久間博一

評議員会副会長が選出され議事に入った。各種報告では、本年度逝去会員に黙祷を捧げた後「次期会長には現副会長の加藤木 健君（横浜中央支部）を指名することになった」との会長指名委員会報告があった。

その後、諸議案について慎重に審議が行なわれ、すべての議案が賛成多数により可決承認された。

定時総会は、まず関会長の挨拶があり、この総会で5年にわたる会長任期を無事に終えられることに対する謝辞が述べられた。その後、ご来賓の本学井出吉信副学長よりご挨拶と大学の近況と将来の展望について、国家試験対策をはじめとする教育面や研究面など様々な角度から、軽妙かつ的確な口調で詳細にご報告いただいた。その後、佐久間評議員会副会長が議長として登壇し総会が進行した。諸報告、諸議案も順調に可決承認され、次期会長には加藤木現副会長を指名されたことが報告され、満場一致、大きな拍手で承認された。最後に加藤木副会長が「品格



ある神奈川県支部連合同窓会にした」と次期会長としての強い意気込みを感じる挨拶で総会は滞りなく終了した。

懇親会は午後6時から本学より金子 讓学長ならびに井出副学長をはじめ多くのご来賓をお招きし、饗



饗とした榊原悠紀田郎会員の声高らかな乾杯で開宴。途中、敬老祝賀会員への記念品贈呈や新入会員紹介などが行なわれ、大きな拍手を送った。和気藹々のうちに時は過ぎ、最後に毎年恒例、全員で校歌を斉唱し閉会した。(宇佐美貴弘 記)



## 茨城県支部

### 総会及び学術講演

平成19年度同窓会定時総会並びに学術講演が、12月1日(土)午後1時30分よりホテルロイヤルレイク土浦にて、40名の会員出席のもと開催されました。

来賓として大学より副学長井出吉信先生をお迎えいたしました。

荒野 実幹事長の司会により、副支部長大峰秀樹先生の開会挨拶後、新入会員として上野正博先生、長谷川洋人先生、長野真珠子先生の

紹介があり、本年他界されました田崎久雄先生のご冥福を祈り黙祷をささげました。

報告事項として、山口忠夫支部長よりご挨拶と11月に開催された評議員会、沿革史製作の現状等の報告、その他の役員の報告事項が為されました。

議事については議長の牧 厚志先生の取り纏めにより第1号議案から第5号議案まで滞りなくすべて承認されました。

副幹事長小野寺宣夫先生の総会閉会の挨拶後学術講演が開催されました。

副支部長高野一夫先生の紹介により、解剖学講座教授井出吉信先生から、大学の近況報告、国試対策、将来の予測などの説明後、「摂食嚥下の知っておきたい解剖学」の講演がなされました。

嚥下を行う開閉諸筋群、関係神経支配、等のわかり易くかつ懐かしい授業がなされ皆熱心に謹聴されておりました。

記念写真撮影後、副幹事長の大金

誠先生司会により懇親会が行われました。飯田 昭先生乾杯発声の後約

2時間ほどお酒が進むにつれ先輩後輩和気藹々となりつつ終了いたしました

したことをご報告いたします。  
(沼田裕之 記)



## 栃木県支部

### 定時総会

#### 次期支部長に関谷和夫先生を再選

平成19年12月2日(日)宇都宮市『ホテルニューイタヤ』において標記総会が開催された。園田省平常任幹事の司会のもと、高山晴之副支部長が開会の言葉を述べると、今年逝去された相澤 巖先生(平成19年2月2日逝去)、柴田光雄先生(同年7月22日逝去)、伊澤八郎先生(同年8月29日逝去)、を偲んで黙祷を捧げた。

支部長挨拶のなかで関谷和夫支部長は、同窓会本部の現況、11月17日の本部評議員会・定時総会の模様、卒後研修セミナー等について報告した。

来賓祝辞では、東京歯科大学千葉病院総合診療科教授・角田正健先生より、大学入試や歯科医師国家試

験、卒後臨床研修についてご報告いただいた。

続いて新入会員として、平成11年卒の園田圭介先生が紹介された。

小滝正人先生を議長に選出して議事に入り、各種報告・議案とも滞りなく承認された。また、今年は役員



改選が行われ、次期支部長に関谷和夫先生が再選された。

鈴木民夫副支部長の閉会の言葉で総会は終了し、引き続き記念講演が行われた。

今回は、来賓の角田正健教授に『口臭患者への対応』との演題でご講演いただき、臭覚の特殊性や口臭

発生の原因・メカニズムから、口臭判定システム、様々な原因に対応した治療・予防法に至るまで、詳しくご教授いただいた。

懇親会は三森 修常任幹事の司会のもと、田中 徹副支部長の開会の挨拶で始まった。県歯副会長の大久保雅順先生より来賓挨拶をいた

だき、井上純一郎先生の音頭にて乾杯すると、賑やかな宴が始まった。角田教授を囲んで楽しいひと時を過ごし、最後は平成卒の若手会員で結成された『平成ゴスペロール隊』の先導で全員が校歌を斉唱し、盛会のうちにお開きとなった。

(井上清志 記)

## 千葉県支部

### 平成19年定時総会報告

師走にしては暖かい日中の平成19年12月2日(日)、千葉市の京成ホテルミラマーレにて東京歯科大学千葉県同窓会の社保講習会・学術講演会、及び定時総会が開催された。

社保講習会の講師をお願いした習志野支部会員の齋藤 守先生は、国保審査委員であり、用意周到に準備・作成された資料をもとに、レセプト記載上の注意点を詳細に説明された。続いて学術講演会の講師としてお招きした母校保存修復学講座准教授の高瀬保晶先生は、「最近の保存修復から」と題して、各種レーザーを使用する治療等についてご講演された。

休憩のあと、内山 茂幹事長の司会で総会が開催された。曾我部 勉副会長の開会の辞、本年逝去された4名の物故会員への黙祷のあと、最初に挨拶された浅野薫之会長は、ますます厳しさを増す歯科界の状況と同窓会東京地域支部連合会についての報告をされた。



来賓として出席された井上 孝千葉病院副院長は、その挨拶の中で、大学の現況と将来の展望、学生の実態などについて、ユーモアを交えてお話しされた。

議長に西宮 寛会員(香取支部)、副議長に萩倉 純会員(印旛支部)が選出された。内山幹事長より会務報告、高原正明会計幹事より平成19年度会計現況報告並びに福祉共済現況報告、平成19年度名簿積立収支現況報告、秋葉貢司幹事長より11月17日に開催された平成19年東京歯科大学同窓会評議員会の報告が、本部常任監事の高原映忠顧問より平成19年度東京歯科大学同窓会本部報告がなされ、新入会員の紹介のあと議事に移った。

上程された議案の中で、特に、年々会員の高齢化による福祉共済金の支出増に伴う共済負担金の値上げについて討議された。未入会員対策を講じて会員増を計ることにより解決できるのではとの意見があったが、最近の数年間、弔慰金の支出が大きく収入を上回っている現実から、賛成多数で1000円から2000円への値上げが可決された。最後は、今年度で任期満了に伴う役員改選が議案として上程された。浅野薫之会長の3期目の続投を望む声も上がったが、浅野会長が固辞、あらためて次



期会長として曾我部 勉副会長を推薦され、承認された。

これで上程された9議案はすべて賛成多数で可決され、無事総会は終了し、場所を隣の部屋に移し、懇親会となった。7月の参議院選挙で38万票余を獲得したものの、惜しくも次点に泣いた白須賀貴樹会員(東葛北部支部)が懇親会から出席し、選挙の応援に対するお礼を述べられた。いずれ捲土重来、再起を期して欲しいものである。高原映忠顧問の乾杯の発声で宴は始まり、同窓会の気安さからか、日頃の厳しい状況を打ち消すが如く大いに盛り上がり、閉会の言葉を聞いても去りがたく2次会会場へと流れて行った。

(東郷幹夫 記)

## 横浜鶴見支部

横浜鶴見支部の同窓会員は最長老の平 光雄先生（昭和15年卒）以下12名であるが、本会の気風と研修に賛同した他大学卒の先生方が会友として参加し、「鶴見東歯会」として月1回、鶴見医師歯科医師会館で例会及び総会が大先輩から若手まで分け隔てなく和やかな雰囲気の中で行なわれている。

鶴見東歯会は、特に会員による学術発表や歯科材料メーカーの説明会、保険勉強会など学術事業と、会員相互の親睦を深めるべく毎年8月に開催の会員・家族・従業員レクリエーションや秋の会員研修旅行など厚生事業の二つに力を入れている。

1年間の厚生事業の締めくくりとなる忘年会が12月22日（土）午後7時半より、鶴見市場 大衆酒席「正木屋」において夫人同伴も含め、21名の出席のもと開催された。

まずはじめに中城基雄会長より挨拶の後、4月から鶴見歯科医師会監

事として活躍されている大庭靖士先生の元気いっばいの乾杯の発声で宴会が始まった。

一年の憂さを払いのけるかの様に談笑の渦巻く中、新鮮な魚介類の刺身から、美味しくてお皿まで舐めたくなることから名が付いたという「なめた鰯」の煮付けなどに舌鼓を打った。鶴見東歯会のメンバーはグルメ、大喰いのみならず酒好きも多

く、ビールに焼酎、日本酒にウイスキーと呑むは呑むは。お酒も箸も進み大いに盛り上がった。

宴もたけなわとなったところで、会員近況の報告があり、今年一年を振り返り来年こそはと一人一人抱負を語りあった。

最後に全員で記念撮影をし、鶴見歯科医師会会長井澤政紀先生の「健康第一で来年もがんばろう」という閉会の辞でお開きとなった。

（宇佐美貴弘 記）



### 同窓会ホームページをご利用下さい

東京歯科大学同窓会 で  して下さい

みなさん同窓会のホームページをご覧になったことがありますでしょうか？現在同窓会ホームページ内には「広報の部屋・会報別館」を設けてあります。会報では誌面の都合で掲載しきれなかった記事や写真を、沢山掲載しております。会報の限られた紙面では、掲載出来る記事も字数制限があり、写真もほとんどモノクロに限定されてしまいます。

しかし、ホームページ上では、以下のような利点があります。

1. 一定期間、ページを開くだけで記事の閲覧が出来ます。2. 会報では掲載しきれない量の記事が載せられます。3. 写真がカラーで、沢山掲載出来ます。（但し一つの記事につき10～15枚程度に数量制限させていただきます。）4. クラス会や各種行事など、参加者以外の方でも閲覧出来ます。5. お気に入りの写真をダウンロードしてプリントすることも可能です。

今後、会員からの要望次第でその他の機能も加える事が出来ます。

\*ホームページへの投稿要領

現在掲載されている記事や写真をご覧頂き、ご投稿の際に参考にして下さい。記事や原稿は Word 形式もしくは Text 形式で、写真ファイルは JPEG 形式で CD-ROM 等メディアにコピーするか、メール添付で送って下さい。（但し、一回で送信出来る添付ファイルサイズが5MBを超えますとメールエラーを起こす場合がございます。）投稿先は同窓会事務局：広報部（送付先アドレスは、事務局までお問い合わせ下さい。）手書き原稿や銀塩写真（従来の紙焼き写真）の場合はそのまま事務局へ郵送して下さい。



## 横浜南部支部

### 平成19年度総会・懇親会開催

平成19年12月8日(土)午後6時30分より、横浜市金沢区のレストラン「山水」において平成19年度の総会ならびに懇親会が開催された。今回来賓には神奈川県支部連合同窓会 関 泰忠会長をお迎えした。

総会は鈴木信治専務理事の司会で行われた。まず玉井達人支部長から「神奈川県支部連合同窓会の次期会長には加藤木 健現副会長が就任されること、本部同窓会の会長には大山萬夫氏が就任されること」等、報告を兼ねた挨拶をいただいた。引き続き来賓の関会長から、「私は今月末で3期5年務めた会長任期が満了となるが、その間、会務が円滑に遂行できたのも皆様のおかげであり感謝している」と挨拶され、さらに連合同窓会をとりまく現況をお話いただいた。その後田中五郎庶務担当理事より会務報告・敬老祝賀会員の紹介がなされた。また浅川 仁厚生担当理事より夏のレクリエーション報告、さらに甲田正治会計担当理事から会計報告がなされた。ついで議案に移り、平成19年度会計が承認されたあと、今期で任期が終了する玉井支部長を引き続き支部長に選出することが満場一致で承認された。

総会后、本会恒例のミニ講演会が行われた。今回は「I Love N. Y. ～紐育の魔力～」という演題で田中五郎会員が講演された。田中会員はここ数年間、毎年奥様とともにニューヨークに通い詰めているが、「それは10年前、たまたま訪れたニューヨークで『CATS』を観てからミュージカルの虜になり、毎年通うようになってしまった」と病膏育に入った顛末を披露され、「ニューヨークの魅力すなわちミュージカル

の魅力である」と、「出待ち」で写した美しい女優たちとの記念写真を交えながら情熱的に語られた。聴衆からは、「得意の総義歯を語るときより活き活きとしていた」と感想が漏れるほどであった。その後、木村剛会員が昭和40年頃市川校舎で行われた運動会の様子を当時の8ミリフィルムで撮影したものをDVDに復刻して持参され、懐かしい思い出と共に上映された。

懇親会は、山下正雄会員の乾杯のご発声で始まり、美味しいイタリア料理に舌鼓を打ちながら、学生時代の話や近況報告で楽しいひとときを過ごした。(広報・渡邊宇一 記)



## 愛知県支部

### 平成19年度総会

12月2日(日)午後2時30分より、平成19年度東京歯科大学愛知県同窓会総会並びに記念講演会が、名鉄ニューグランドホテルにて晴れやかに開催されました。

本会の会員数は現在一般会員167名、高齢会員58名の総勢225名、そのうち69名が出席し、来賓として、愛知県歯科医師会会長の宮村一弘先生、東京歯科大学水道橋病院長の柿澤卓先生、本部同窓会理事の瀧義孝先生をお迎えし盛大に執り行われました。

神谷龍司会長のいつもどおりパワーあふれる挨拶で始まり、来賓の水道橋病院院長柿澤卓先生より、最近の大学の動きとして、水道橋に口腔健康臨床科学講座を開設、千葉に口腔インプラント科を開設、市川に口腔がんセンターを開設したことなどをパワーポイントを使って大変丁寧に詳しく報告していただきました。ただ、柿澤先生のお話の中で、いずれ大学が千葉から水道橋に再び戻る計画があることを知り、私事ではありますが進学課程を過ごした市川校舎がなくなり、学生生活の大半を過ごした稲毛校舎もなくなってしまうとなると一抹の寂しさを感じました。その後、議長に大野徹弘先生を選出し、見事な手綱さばきで迅速かつ慎重に議事を進行していただき、役員改選の件では、神谷龍司会長の任期完了のため次期会長に牧野健司先生が、監事3名は瀧義孝先生、高島治巳先生、山本芳隆先生から山本芳隆先生は留任、新監事に

神谷龍司現会長、藤城鐵英現常務理事が推薦され、満場一致で承認されました。議長降壇後、愛知県歯科医師連盟の伊藤英紀会長から石井みどり参議院議員に関する報告、また今年度顕彰者表彰として瑞宝中綬章を受けられた河合幹先生と文部科学大臣表彰を受けられた角倉功先生の表彰、また今年度新入会員として山本隆司先生が紹介され、滞りなく円滑に総会を閉会いたしました。

続いて、本校卒業後、東京医科歯科大学口腔病理学教授をされている山口朗先生に「骨再生研究の現状と将来」と題して記念講演をしていただきました。テレビや新聞、雑誌などで再生医療という見出しが飛びかっている昨今ですが、山口先生のようなその分野の第一線で研究され活躍されている人の話を直接聞くこ

とができ、また骨の再生という難解な研究を可及的にわかりやすく、エムドゲインに対する辛口コメントを交えながら説明していただき、大変有意義な講演会となりました。

引き続き会場を隣に移動して懇親会が開宴されました。来賓の宮村一弘先生より、間近に控える診療報酬改定に関する事、来年度に向けて愛知県歯科医師会のやるべきことなど多岐にわたる事項を丁寧にお話ししていただいた後、次期会長の牧野健司先生より乾杯の音頭をとっていただき、生バンドの心地よい演奏と歌声を聴きながら楽しいひと時を過ごしました。

写真は左から、山田有常任理事、井上好平副会長、牧野健司副会長、本日講師の山口朗先生、東京歯科大学水道橋病院長の柿澤卓先生、神谷龍司会長、瀧義孝前会長です。(竹内英樹 記)



## 金沢21世紀美術館

### 石川 県

日本や世界のコンテンポラリーアートを牽引する存在として、全国の美術愛好家にすっかり定着した感がある金沢21世紀美術館「愛称 まるびい」(04年10月開館)を紹介します。

兼六園、金沢城石川門の隣に位置し、市内の名所と並び、観光の目玉として各地から足を運ぶリピーターも多く、外国の方もいつもおおく見受けられます。市立美術館の年間入場者数は平均5万人といわれているなかで、人口46万人の金沢で130万人以上、07年には累計437万人を突破しました。驚くばかりです。コンセプトどおり、「まちに開かれた公園のような美術館」です。宇宙船を連想させるような円形ガラス張りの建物には、それぞれの方向に出入り口があり、来る人を拒絶しない開放的なデザインです。誰もが気軽に立ち寄り、まさに公園のような空間です。敷地内の芝生の上では子供たちが作品に腰掛けたり、触って楽しん

でいる光景がよくみられます。また、国内外の有名な作家が製作中の作品を見る事も出来ます。本邦初公開となるコンテンポラリーアートが多数公開され、評価を高めています。

この美術館は恒久的に設置された作品がみどころでもあります。是非、観ていただきたいのは美術館の光庭にあるレアンドロ・エルリッヒの「スイミング・プール」です。美術館にプールがあるのです。近づいて中を見下ろすと、水底に人があるいて、こちらに向けて手を振ったり、カメラを向けてきたりしてきます。もちろん服を着たままプールの底にすわって、ゆらゆらと動く波紋を楽しみながらなごむこともできます。パトリック・ブランの「緑の橋」は金沢の気候に適した植物や金沢近郊の山に自生する植物をつかった作品で、椅子に腰掛けながら眺めると白い建物と青い空のコントラストがまた素晴らしい。ゆったりと過

ごすにはちょうどいい場所でもあります。金沢に出現した「まるびい」は城下町に完全に溶け込み、今をときめく芸術家たちの作品が建物の一部のように組み込まれ、常に新しい感性の発見が出来る場所となりました。皆様も金沢に観光にきましたら、是非、お立寄り下さい。

(平成2年卒・長田昌巳 記)



レアンドロ・エルリッヒ 2004年作  
「スイミング・プール」  
写真提供 金沢21世紀美術館



パトリック・ブラン 2004年作  
「緑の橋」 写真提供 金沢21世紀美術館



写真提供 金沢21世紀美術館

# クラス会だより

## クラス会開催日程

七十七期会（昭和47年卒）

とき 平成20年6月14日（土）午後6時

ところ 新宿 小田急ホテルセンチュリー

サザンタワー21F パークルーム

## いとし会

昭和24年卒

### 総会および懇親会報告

11月16日卒業以来58年目のいとし会は愛知君の麻布中学の同級生がオーナーである銀座並木通りの南蛮銀園亭で、井上理事長も出席のもとこの年頃としては盛大に行われた。

20年位以前には、久しぶりにみる同級生が意外に老けたのに戸惑い、あれは誰だっけ？なんてひそかに尋ねあったものだが、年を重ねた今となっては安定して、誰わからぬ者はなくなったのに吃驚した。皆元気で嬉しい限り。

今年度から愛知君と赤松君が幹事責任者となり、種々お世話いただいた。総会に先立って水道橋の母校に集合し、新しく出来た井上理事長の

資料室を見学した。歯科医師として文部大臣、特に参議院議長を経験した人は恐らく今後も希むべくもないだろう。実に凄い同級生がいることに無限の喜びと誇りを感じる。それに誰もが感心したのは、中学生の頃から書きためた日記や東菌時代の膨大なノート類・論文等が丹念に保存してあったのにも驚嘆の限りであった。金子学長の挨拶でもこの事を云われたが、同級生でさえも彼を単に豪放磊落、大ざっぱと大部分が思っていた筈だった。

銀座での総会は、北海道の後藤君を議長として会計、事業報告が承認され、次年度の総会場は幹事一任で閉会した。

懇親会では例によっておいしい料理を味わい乍ら、各々の近況を話し合い賑やかに楽しく久闊を叙した。

近年中村君が地元福井のお土産を各自に用意してくれるが、今年も重いのにも名物のお菓子など大量に持って来てくれ恐縮だ。又長年いとし会の幹事長として面倒を見てくれた森君が儂くも逝去され、もうあの端然清楚な顔が見られない事に、誰もが淋しく残念な思いであった。熱田君



の提案で、森君が生前こよなく愛唱していたと云われる、童謡カラスの「七つの子」を皆で合唱し彼を偲んだことも、彼の人間性を表す特記事項と思う。

時の過ぎるのを忘れ、懇親の情を深めて、又元気で来年の再会を誓い

合って散会した。

出席者（○は同伴）

○愛知，赤松，熱田，鮎沢，井上（純），井上（裕），岡田，加藤（正）  
○神山（五），菊地，後藤，○斎藤，佐藤（正），杉之内，田中（省），中村（義），○堀，宮田，村田，山田，

和田，○鈴木（義） 27名

追記

いとし会総会は今秋を予定しております。（鈴木義政 記）

## 五十鈴会

昭和25年卒

平成19年度の同期会は静岡の田代君が大変な骨折りの結果、静岡県掛川市で開催する事が出来ました。

10月18日掛川駅よりデラックスバスで山内一豊が城主であった掛川城等々見学し、ヤマハ・リゾートつま恋にて、総会を早河君の司会で、大山代表幹事と現地世話人田代君の挨拶があり、議長を天野 恵君にお願いし、大山君が庶務報告、中尾君が会計報告を行い、次いで女川君より「平成20年度総会を富山で、と内田君が立案しています。私も協力

しますから是非皆さん出席をお願いします。」と要請がありました。総会終了後、皆元気で再会出来た事を喜び、話がはずみました。

翌日、掛川花鳥園にて花と鳥との触合いを楽しみ、小国神社を参拝してから、浜名湖館山寺温泉、ホテル九重にて宿泊。

最終日はガーデン、パーク、モネの館と庭園を雲一つ無い日本晴れに恵まれて、気持ちの良い散策となりました。最後に浜松発祥の大風博物館を見学して、昼食には名物うな茶

漬に舌鼓を打ち、浜松駅で解散となりました。

今回は出席者が少人数であった故か、親近感がより一層増した様に思います。また田代君御夫妻と旅行社が細かい所迄、心配りをしてくださいましたので最高に楽しい五十鈴会となりました。あらためて田代君に感謝したいと思います。

今回は日本一美味しい富山湾の魚を、と内田君が張切っておりますので乞う御期待です。

（村上守正 記）



## ジーベン会

昭和34年卒

### 第48回 総会，懇親会

平成19年度ジーベン会が11月12～14日，2泊3日の行程で北九州，博多を中心に開催された。ニューオータニに集合，3時から総会を始めた。幹事長山本啓介君欠席のために挨拶文を渡辺吉明君が代読，今回の世話人八木 博君の開会の辞で始まり，昨年度の物故者・南部 淳君（平成19年1月21日），中里 勇君（平成19年3月19日）の2名と合わせて，これまでの物故者39名に対して黙祷を捧げ故人の冥福を祈った。

会務報告から議事に移った。今回の参加者は14名（会員10名）と急に

少なくなった。病欠やいろいろな事情を抱えて出席出来なかった会員が多くなったことをふまえて，会の存続について意見が交わされた結果，50回までは今まで通り続け，それ以降は新たに考えることで出席者の意見が一致した。次年度の開催地は長野に決まり，仔細は提案者である鈴木和夫君と幹事に一任して，総会は終了した。

鈴木和夫君の乾杯の音頭で会食となり，世話人の八木 博君奏でるジャズのメロディーが，楽しかった学生時代へと誘ってくれた。

2日目はレトロの町門司港へ，今

なお現役で活躍する大正生まれの門司港駅を始め，旧税関庁舎，三井クラブなど大正ロマンの風に吹かれながらゆったりとした時間を過ごした。幾多の平氏を飲み込んだ壇ノ浦は晩秋の光の中で静かに横たわっていた。博多に戻り名物鯛茶漬の昼飯に満足し，再びバスの人となり柳川へ向かった。柳川藩主の別邸お花松濤館で旅装を解き，しばし船遊びに興じた。北原白秋の生家を見学，母校の校歌のルーツを知ることとなり感激しきり。夕飯は名物ウナギのセイロ蒸して締めくり，最後に全員で北原白秋作曲の校歌を高らかに合唱し，来年の再会を約して散会した。（村田基生 記）



## 福 祉 会

昭和44年卒

平成19年11月10日(土)第38回福祉会三重大会が、森 雅胤君、深水 征人君、柘植敏生君、中島敏子さんのお骨折で木曾三川が伊勢湾に流れ込む地にある、三重県桑名市長島町長島温泉、ガーデンホテル・オリーブで開催された。石川達也先生には残念ながら急なご用でご臨席かなわなかったのですが、24名のクラスメートと夫人・家族9名、計33名の参加で今年も和やかな集いを持つことが出来た。ロビーでは集合時間よりだいぶ前から談笑の輪がいくつも出来、部屋割・入浴の後、記念写真に収まり、いよいよ森君の司会で、まず昨年2007年4月17日に亡くなった多田光春君を含む15名の我が友に、追悼の黙祷を捧げ会に入った。

はじめに柘植君より、出席出来なかった席田克巨学年幹事からの下記の提案がなされ、承認された。

①2008年第39回は日本歯科医学会に合わせ横浜で開催する。

②節目大会は東京でとの慣らわしではあるが、2010年に大学の創立120周年のお祝の会が開催されるので日

を同じくし、第41回を東京で持ち、第40回は地方にお願いする。

宴は順次近況報告をまじえ進められた。特に、何といてもトピックスは、今回本当に久しぶり出席の白井章弘君、昔変らぬ調子で、長い長い病との戦、そして一筋の光明、回復、さらに年月を経て皆の前への生還と、淡淡と語ってくれました。一同涙し聞き入り、君を取り戻す事が出来た喜びに拍手喝采。帰って来てくれてほんとうにありがとう。皆も同じ思いのことと思います。

翌日は朝一でお伊勢もうでに出かけた遠来の内山太一郎君のように、松阪の和田金へ、そして白井君の奥様も合流し、白井君復帰の引き金を演出してくれた山口順康君ら多くが神話と歴史がつながる地(天孫降臨の時、遣わされた三種の神器のうち、剣と勾玉は天皇家に、そして鏡は伊勢神宮に祀られている)お伊勢さんに足をはこびました。今年は横浜です。再会を楽しみに。

[多田光春君のこと]

思い起せば、2002年第33回のクラス会は、多田君のお世話で和歌山

でした。翌日、石川先生ご夫婦も同行で、何台もの車に分乗、高野山に登りました。お参りの後、狭い食堂で肩寄せ合っの昼食の後、散会した事、つい最近の事のように。あれから5年経ったのですね。その後体調を崩されたのですが、第35回六本木ヒルズで開催された東京大会には、ご夫婦で御元気に参加されていたのに無念でなりません。多田君と私は107・108の連番で、いつも迷惑を掛けていた事も今は懐かしい思い出です。森君と3人で登院中の夏休みに、下北半島、恐山を目指した東北旅行の事、大切に胸に仕舞っておきます。多田君、そちらで又お会い出来る日まで安らかに待っていて下さい。

合 掌

(夫馬真也 記)



右・多田君



## 八十二期会

昭和52年卒

卒業後30年を記念して、昭和52年卒の私達82期会の同期会が懐かしい水道橋で行われました。

10月7日日曜日、午後3時から、血脇ホールにおいて、まず初めに記念の講演会が行われました。講師は、本校小児歯科教室の同期生、米津卓郎君。「指しゃぶりとおしゃぶり」についての講演です。

まず、乳歯列での交叉咬合は永久歯列でも交叉咬合になるので、早期発見、早期治療が必要であるという事。そして、それは「おしゃぶり」が原因となる事が多い。おしゃぶりは中世ヨーロッパの貴族社会の間でも使用されていた。日本でも「母助（ボスケ）」とよばれ使われていた。人工乳で育った子供の約半数が、指しゃぶりをしたり、おしゃぶりを使用したりする。

3歳で指しゃぶりをしていると、開口や上顎前突が20~30%発現。しかし、5歳までにやめていた子供は、ほとんど正常になっている。余り早くから指しゃぶりをやめさせようとすると、かえって頑固に指しゃぶりをするようになるので、3歳まではやめるまで様子を見る。3歳以

降も指しゃぶりをするようなら、やめさせるようにつとめる。

おしゃぶりは、指しゃぶりよりも不正咬合を引き起こす。おしゃぶりは、吸っている時間が長いので、より悪影響を及ぼすが、ほとんど2~3歳でやめる事が多い。代表的なヌークのおしゃぶりは、舌を低下させるために、上顎は頬圧により狭くなり、下顎は舌圧により広がる。その結果交叉咬合になる。おしゃぶりには精神鎮静作用があるが、逆に外からの刺激に対し反応が鈍くなるため、知能発達が遅れる可能性がある。そこで結論として、おしゃぶりはできれば2歳までにやめさせたほうがよい。そして、その形態も改善していく必要がある。

以上のような講演の内容でしたが、日頃、技術的なことに関する講演に関心が向いてしまいがちな私達にとってとても新鮮で楽しく、印象に残る講演でした。そして何よりも、学生時代にあれほど無口であった米津君のじょう舌ぶりに皆、ビックリ。

続いて、同期会の総会が行われました。まず、8月に亡くなられまし

た私達の学年主任、高橋庄二郎先生に全員で黙祷をささげました。次に、82期会会長の松木建二君の挨拶、そして、松岡秀明君の議長のもと、前回の会計報告、新役員の承認、次回開催地石川県の承認などがなされました。

5時45分から、場所を後楽園ドームホテルに移し、来賓として私達の学年副主任、細川伊平先生をお迎えし、まず、写真撮影。6時から地下1階の「シンシア」において懇親会が行われました。細川先生と同期生52名、その令夫人3名の計56名が参加。卒業してから30年の間の出来事を、各人が持ち寄った写真をスクリーンに写し出しながら、過去の出来事、現在の状況など、懐かしくそして、楽しく語り合いました。本当に久しぶりに会う学友もおり、瞬間に時間が過ぎてしまいました。閉会のあとも別れがたく、2次会を42階の「ペガサス」で行いましたが、なんと44名もの参加がありました。カラオケ、おしゃべりとこれもアツという間に時間が過ぎ、最後に全員で校歌を斉唱し、次回石川での再会を約束して散会となりました。

(高橋章雄 記)





## 水 真 会

昭和58年卒

去る平成19年10月27日(土)に血脇ホールにおいて、平成19年度水真会総会ならびに講演会が行われた。当日は学年主任の本学名誉教授の高添先生と町田先生にもご出席を賜り、総会は15時より原 裕司君の議長の下、順調に報告事項ならびに議事進行が進められた。引き続いて行われた講演会では、昭和42年日本大学歯学部ご卒業で、現在日本橋小伝馬町にご開業の鈴木 尚先生をお招きし、「歯を失わない補綴への挑戦」というテーマで、オープン形式で行われた。豊富な症例写真を基に、良い症例と悪い症例とは何処が違うのか?いかにしてリエス、ペリオ、咬合力の3要素をコントロールして歯の生存率を高めるかという、臨床家にとって大変有意義なお話をいただいた。

その後の懇親会は、隅田川の屋形船による豪華ナイトクルージング!!

という予定であったが、我々の日ごとの行いが良かったおかげで(?)折悪しく襲来した台風20号が午後6時に関東に上陸するという最悪のタイミング。急遽臨時総会が開催され、「働き盛りの命を大切にしよう!」という決断がなされ、満場一致で屋形船の中止が決定された。このまま懇親会を中止にするのも悔しいので、場所を神保町の「新世界菜館」に変更、伊藤先生も合流して、何とか開催にこぎつけることが出来た。悪天候の下、ずぶ濡れで集合した面々はいつもにも増してパワーアップ。貸切状態のお店で、夜更けまで旧交を温めた。一同が2次会に移動する頃には雨も上がり、台風一過、月夜の空には白い雲が勢い良く流れていた。

思えば我々も卒業して早いもので今年で満25年。その間歯科界も様々な変貌を遂げ、大学自体も今大きな

変革期に来ている。水道橋で座学をし、千葉病院で初めて臨床実習を行った我々の学年は、同窓会名に水道橋の「水」と真砂の「真」ととって、「水真会」と命名した。この同窓会名が、25年の時を経て、改めて感慨深く感じられる今日この頃である。(古澤成博 記)



# OB会・グループ・サークルだより

## 管弦楽団創立80周年記念演奏会 ならびに記念祝賀会開催

2007年11月23日に晴天のもと、東京歯科大学管弦楽団創立80周年記念演奏会（第30回定期演奏会）が千葉校舎講堂に多くの聴衆を集め盛大に開催されました。本年は管弦楽部創部80周年というメモリアルイヤーにふさわしい曲が選ばれました。没後100周年のグリーグ作曲のピアノ協奏曲イ短調（ピアノ独奏：松岡直子）、当団の節目毎に演奏されてきたドボルザーク作曲の交響曲第9番ホ短調「新世界」、当団の最多演奏曲であるシベリウス（没後50周年）作曲の交響詩「フィンランディア」、そして同じく制定80周年を迎えた本学校歌（山田耕筰作曲、藤田由之編曲）が演奏されました。（指揮：鎌田由紀夫）

管弦楽部の歴史は古く、専門学校時代の1927年（昭和2年）に7名の同志により発足されました。その

後、戦争の影響により弦楽器が衰え、ブラスバンドとして活動を続けました。戦後、大学移行後は弦楽合奏の器楽部として継続しました。1964年（昭和39年）、この器楽部を母体に再結成が始まり、1967年（昭和42年）に「第1回定期演奏会」が開催されました。本学が千葉校舎に移転後、部員減少により楽団の存続すら危ぶまれた時期もありましたが、前述の定期演奏会を第1回として、この度、節目となる第30回の定期演奏会を創立80年で迎えました。今回は例年以上に盛り上げようと全国のOB・OGに演奏会参加を呼びかけ、多くの先生方が演奏者、運営スタッフ、聴衆として参加されました。

演奏会終了後、厚生棟にて創立80周年記念祝賀会がOB会員他の関係者、百数十名の出席を得て盛大に

催されました。記念演奏会を成功裏に終え、第1回定期演奏会を開催したときの懐かしい話や即興演奏なども出て、現役部員とともにOB会会員一同、大いに盛り上がりお開きとなりました。

演奏参加者は以下の方々です。  
（敬称略）Vn：多胡 彬、矢崎洋子、荻倉 純、川口 充、大田 恵、豊田 泰子、Va：鏡 宣昭、小川 学、岡崎 真、酒寄孝治、Vc：和光 衛、武田 瞬、桃木祐美子、Fl：関根亜里紗、Ob：駒橋邦雄、Cl：水野 剛志、林 郁恵、Fg：板垣 光信、矢崎宣利、Hr：野津秀郎、島田隆光、下島隆志、Trp：鈴木 祥夫、大串圭太、木村 愛、Trb：加藤広之、勢島 典、遠藤大輔、Tub：田中大平

（平成7年卒 田中大平 記）



## 平成20年度（第32回）全国同窓囲碁大会開催のお知らせ

今年度の全国同窓囲碁大会を下記により開催致します。奮ってご参加下さい。  
お待ちしております。

日 時：平成20年4月6日（日）午前11時試合開始

会 場：市ヶ谷 日本棋院会館

参 加 者：5,000円（別に有志による懇親会を予定しています）

参加申し込み：FAX 03-3871-4180

はがき 110-0003 東京都台東区根岸3-7-1 高橋一祐 宛

準備の都合上3月20日までにお願い致します

## 庶 務 日 誌

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 月</p> <p>1) 理事会<br/>1月12日(土) 第1回理事会</p> <p>2) 委員会<br/>1月10日(木) 広報部委員会 (会報編集)<br/>15日(火) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>16日(水) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>21日(月) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>22日(火) 学術部委員会 (プログラム委員会)<br/>25日(金) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>28日(月) 学術部委員会 (企画会議)</p> <p>3) 出張<br/>1月9日(水) 千代田支部新年会 大山会長出席<br/>18日(金) 芝支部総会 大山会長出席<br/>19日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会<br/>大山会長出席<br/>25日(金) 浅草・下谷支部合同新年賀詞交歓会<br/>大山会長出席<br/>26日(土) 杉並支部新年会 大山会長出席<br/>26日(土) 世田谷支部新年会 片倉副会長出席<br/>27日(日) 埼玉県支部新年会 大山会長出席<br/>31日(木) 六校新春懇親会 大山会長出席</p> | <p>2 月</p> <p>1) 理事会<br/>2月13日(水) 第1回常任理事会</p> <p>2) 委員会<br/>2月4日(月) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>5日(火) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>7日(木) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>12日(火) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>14日(木) 広報部委員会 (会報企画)<br/>15日(金) 学術部委員会 (プログラム委員会)<br/>16日(土) 情報部委員会<br/>18日(月) 学術部委員会 (運営委員会)<br/>22日(金) 学術部委員会 (全体委員会)<br/>25日(月) 学術部委員会 (企画会議)<br/>29日(金) 保険部委員会</p> <p>3) 出張<br/>2月3日(日) 滋賀県支部総会<br/>学術講演会 講師・角田正健教授(母校)<br/>16日(土) 北多摩支部総会 大山会長出席<br/>19日(火) 東信支部学術講演会 講師・片倉恵男氏<br/>(中信支部長)</p> |
|---|---|

# すいどうぼし

## 同窓会員のご子息からの手紙

堤 正 幸 (昭和59年卒・情報部委員)

ある日、情報部に一通のメールが届きました。そのメールは台湾にお住まいの Lin, Yung Fong さん (55才) という方からでした。

彼は昭和14年3月卒業 (天心会) の林金柱先生のご子息で現在小児科医をされているそうです。御父様は東京歯科大学専門学校の卒業生で、すでに16年前に他界されたそうですが、当時嘉義市に住んでいて仕事に励まれていたそうです。御父様の林先生は1971年に仕事を引退され、その年に来日して東京歯科大学口腔外科へ訪れたそうです。また、お父様は中野区に御母様と10年ほど住んでいたそうです。そして日本にいたときの最後の勤め先は東京女子医科大学病院の歯科だったようです。

息子さんは東京歯科大学同窓会のHPを見て、亡くなった御父様がどんな学生時代を送り、どのような教育を受けたのか大変興味をもたれたようです。というのも御父様は家族

に対して冗談一つ言わない大変厳しい人で、自分が子供の頃、真冬でも長ズボンを穿くことを許さなかったそうです。そして自分たち兄弟 (4人兄弟) に「日本の子供達は雪の日でさえも、一年中半ズボンしか穿かないのだぞ!」と書いていたそうです。その御父様は台湾の中学を卒業後日本へ渡り、高校から日本の学校に通い東京歯科大学を卒業したそうです。その御父様の人格や人間形成をする上で最も影響を受けたのは大学時代だと確信しているそうです。

御父様は故郷では大変有名な歯科医師で他のドクターが治療を嫌がるような全身疾患との合併症を持つ患者でも断ることなく誠実に治療をしたそうです。また決して不必要な治療を患者に強要することがなかったそうです。

その御父様は息子達に礼儀正しさと誠実さを徹底して教育されたそうです。そのお陰で今では4人の兄弟はそれぞれ心臓外科医、精神科医、

胸部内科医、小児科医になったそうです。「これもひとえに父の人格形成をしてくれた東京歯科大学とその教師のみなさん、クラスメートのみなさんのお陰で感謝を捧げたい。そして自分が東京歯科大学同窓会員の息子であることを誇りに思っています。」とのことでした。

この話しを聞いて私は東京歯科大学の同窓生であることに誇りを感じたと共に、元気を与えてもらったと思いました。

そして彼は御父様の同級生がお元気ならば御父様が学んだ当時の話しやエピソードが知りたいということでしたので、仲の良かったという同級生の先生を捜したのですが、何しろみなさん90才近いご高齢で残念ながら連絡のつく方が見つかりませんでした。この記事をお読みになって林先生のご息子にご連絡いただけた方がいらっしゃいましたら、情報部までご一報下さい。宜しく願いいたします。



## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 22 卒	関 田 実 (84歳)	19. 12. 10
北多摩支部	〒183-0022 府中市宮西町 5 - 11 - 1	
●昭 13 卒	深 山 正 之 (93歳)	19. 12. 20
富山県支部	〒176-0022 練馬区向山 3 - 7 - 11 シルバーヴィラ向山	
●昭 19.9 卒	結 城 重 之 (76歳)	11. 6. 9
札幌支部	〒003-0806 札幌市白石区菊水六条 2 丁目 6 - 33	
●昭 38 卒	眞榮田 義 仁 (74歳)	19. 12. 27
千葉県支部	〒273-0035 船橋市本中山 2 - 7 - 12	
●昭 22 卒	岡 田 眞 一 (82歳)	19. 11. 25
神奈川相北支部	〒228-0812 相模原市相南 4 - 8 - 16	
●昭 43 卒	谷 越 英 之 (66歳)	19. 12. 28
群馬県支部	〒370-1301 多野郡新町 126 - 1	
●昭 23 卒	藤 沢 暁 美 (81歳)	19. 12. 30
愛媛県支部	〒792-0042 新居浜市本郷 1 - 6 - 29	
●昭 26 卒	武 井 範 彦 (78歳)	19. 12. 30
墨田支部	〒130-0022 墨田区江東橋 4 - 9 - 4	
●昭 12 卒	竹 内 光 春 (92歳)	20. 1. 3
千葉県支部	〒272-0034 市川市市川 2 - 26 - 19	
●昭 18.9 卒	佐 藤 京 介 (87歳)	19. 12. 29
青森県支部	〒039-0103 三戸郡南部町大字大向字勘吉 48 - 1	
●昭 33 卒	稲 浜 洋 一 (73歳)	20. 1. 4
三重県支部	〒518-0862 上野市片原町 2773	
●昭 22 卒	椋 棒 博 (83歳)	20. 1. 4
京都府支部	〒629-2403 与謝郡加悦町字加悦 189	
●昭 13 卒	田 中 文 勝 (91歳)	19. 12. 15
杉並支部	〒167-0053 杉並区西荻南 2 - 6 - 5	
●昭 19.9 卒	宇 梶 淳 (84歳)	20. 1. 12
北多摩支部	〒187-0002 小平市花小金井 1 - 3 - 28	
●昭 35 卒	宍 倉 寛 一 (73歳)	20. 1. 12
千葉県支部	〒260-0013 千葉市中央区中央町 9 - 1 - 201	
●昭 17.9 卒	大 塚 信一郎 (87歳)	20. 1. 6
大阪府支部	〒186-0002 東京都国立市東 4 - 27 - 35 牛尾様方	
●昭 10 卒	岡 本 傳 (100歳)	20. 1. 13
芝支部	〒105-0023 港区芝浦 1 - 4 - 14	
●昭 25 卒	山 口 幸 夫 (80歳)	20. 1. 20
三重県支部	〒516-0037 伊勢市岩淵 1 - 16 - 10	
●昭 22 卒	清 水 直 彦 (83歳)	20. 1. 24
新潟県支部	〒951-8133 新潟市中央区川岸町 1 - 39 - 9	
●昭 13 卒	深 山 博 (92歳)	20. 1. 26
福岡県支部	〒830-0042 久留米市荘島町 9 - 5	
●昭 36 卒	松 井 俊 憲 (72歳)	20. 1. 28
三重県支部	〒517-0603 志摩市大王町波切 1001 - 11	

## ◆投稿規定

- (1) 原稿締切り  
原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式  
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) 投稿字数
  - ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
  - ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。
  - ③ 「追悼」は、500字程度
- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。  
なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (5) 写真等の返却  
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

## ◆へんしゅうこうき

- ★巻頭言「和衷協同」は大山会長が挨拶の中で必ず引用される言葉です。「心の底から打ち解けて共に力を合わせること。」と辞書にあります。  
広報部においても同窓会員の皆様の信頼回復のためまた母校の創立120周年記念事業に同窓会として支援するため、力を合わせて取り組む所存です。会員の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。
- ★クラス会だより「いとし会」は井上理事長と同期のクラス会です。この報告には井上裕資料室についても言及されています。資料室は創立120周年記念事業の一環として水道橋キャンパス内に設置されました。私も見学の機会があり、覗いて参りましたが「いとし会」の鈴木先生と全く同じ感想を持ちました。
- ★2010年に東京歯科大学は創立120周年を迎え、「継承と発展」をメインテーマとして創立120周年記念事業が執り行われることとなっています。先ごろ東京歯科大学創立120周年記念ロゴマークが決定し、「創立120周年記念事業各委員会・部会組織」も動き始めています。詳細が明らかになり次第第4会員の皆様にご報告させていただきます。
- ★同窓会関係者のように装って書籍等を売りつける商法についての注意が書かれています。各支部にはこれと同じファックス連絡も流れていることと思います。さっそく同窓会本部には「買ってしまっただが返しても同窓会に迷惑はかからないね」と確認の電話がかかっています。同窓会とは関係ありません。ご注意お願いいたします。同時に早く同窓会として対応することの重要性を痛感いたしました次第です。
- ★12月号21ページに住所不明者リストが掲載されています。確認不十分のため同一人が3回掲載されてしまいました。申し訳ありません。その隣の愛知県支部のページには血脇先生の「世の中は五分の真味に二分俠気 あとの三分は茶目でくらすよ」と書いてありました。「余裕も持てよ!」といわれたような気がしますが、……??重ねてご支援よろしくお願い申し上げます。

(三友和夫 記)

### 広報部委員会

委員長 小林 伯男  
委員 白田 準  
小池 修  
尾崎 圭子  
福井 雅之

広報部担当理事 三友 和夫

平成20年2月20日 印刷  
平成20年2月25日 発行  
東京歯科大学同窓会会報 第362号  
同窓会ホームページアドレス  
<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 大 山 萬 夫  
編集人 小 林 伯 男  
東京歯科大学同窓会  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18  
電話 (03) 5275-1761  
FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社  
〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22  
電話 (03) 3952-5651 (代)